平成22年度 町政執行方針

個性と魅力あるまちづくり

二期目を迎え
新町としての節目の年
三輪茂町長は
「第２回日高町議会定例会」において
町政執行方針を述べ
行政運営に対する
決意を表明しました。

平成22年第2回日高町議会定例会の開会にあたり、町政執行につきまして、私の所信を申し述べさせていただき、町民の皆様をはじめ議員各位の御理解と御協力をいただきたいと存じます。

私は、日高町長に就任して以来4年間、住民の一体感醸成に主眼を置き、町政執行に努めてまいりました。しかしながら、町政の運営は、まだまだ課題が山積しております。2期目の初年度となる平成22年度につきましても、町民の皆様との対話を通しながら、激動する社会情勢に的確に対応し得る行政運営に努めてまいりたいと考えております

国の平成22年度予算編成の基本方針におきましては、「地域のことは、地域で決める」地域主権の確立に向けた制度改革に取り組み、地方財政に所要な財源を確保することで、住民生活の安心と安全を守るとともに、地方経済を支え、地域の活力を回復させていくこととされております。

本年度は、個人所得の大幅な減少や企業収益の急激な悪化等により、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が落ち込む一方、社会保障関係経費の自然増や公債費が高い水準で推移すること等により、職員の定数削減や人事院勧告に伴う給与関係経費の大幅な減少にもかかわらず財源不足が過去最高の規模に拡大するものと見込まれております。

基礎的自治体としての私ども市町村におきましては、地域主権型社会に向けた体制を整えるため、行財政運営の基盤を更に強固なものにしていくことが求められております。そのために何よりも基本となるのは、日高町の将来像をしっかりと見据えた総合計画の着実な推進であります。

本年度は、日高町総合振興計画の3年目となるものであり、我が町が有する地域特性や優位性を最大限に活用し、他の自治体にはない様々な資源を活かし、新しい発想により、創意と工夫を凝らした個性と魅力あるまちづくりに取り組み、「いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせるまち」の実現に向け、着実にまちづくりを進めてまいります。

平成22年度の日高町一般会計予算につきましては、日高町総合振興計画の実施計画を基本に、最重要課題に重点配分した結果、98億6900万円となりました。前年に対し2・9％の減となったものでありますが、計画に基づき職員定数の適正化を進めるとともに民営化の推進などにより、財政健全化計画を指標とした財政の健全化に向けた取り組みを進めてまいります。

次に主要な施策の推進について申し上げます。

地域産業の振興

◎農業の振興

はじめに、地域産業の振興について申し上げます。

稲作につきましては、平成22年度産米の生産数量が決定したところであります。数量的には2100トンと約1割減でありますが、今後も農業者と農業関係団体が一体となり、消費者ニーズに対応した安全で食味の良い米作りを推進してまいります。

水田農業対策につきまして

は、平成22年度個別所得補償モデル対策が実施されます。この新制度の有効活用を図り、水田農業の継続、転作作物の定着促進と産地形成、担い手の育成等農業経営の安定に向け、水稲を主体とする経営に変わる地域の振興作物の定着を推進するため、経営転換や複合経営を推進してまいります。

施設野菜につきましては、作付面積・生産量ともに順調に推移しており、今後とも日高町の振興作物として位置付け、安全で安定した生産を推進してまいります。

また、町内外からの新規参入者を促進するため、新規就農者対策とともに農業後継者花嫁・花婿対策を推進してまいります。

◎酪農業の振興

酪農につきましては、依然として飼料・資材の高騰などにより厳しい状況下にあります。乳価・経営の安定を確立するために、関係機関と協力し、飼料生産の協業化を促進してまいります。

肉用牛では、価格の低迷が続いておりますが、優良肉用牛繁殖素牛導入事業により、町内における優良黒毛和牛群を形成するとともに、育成技術の向上、防疫事業を図りながら、肉用牛経営を推進してまいります。

◎軽種馬の振興

軽種馬につきましては、より強い馬づくり・売れる馬づくりを実践できる環境整備を図るため、馬産地再活性化緊急事業などを活用し、経営基盤の安定を目指します。また、農家経営の健全化に向けて、肉用繁殖牛導入・施設園芸との複合経営又は経営転換を促進してまいります。

◎ホッカイドウ競馬

ホッカイドウ競馬につきましては、本年度は、門別グランシャリオナイターとして全日程80日間の開催が予定されております。北海道競馬改革ビジョンで示されている「収支見通し及び年次別の取組み」の最終年度であり、北海道は、単年度の収支均衡が図られなければ、競馬事業の廃止を基本としていることから、収支均衡達成のために、産地力を活かした魅力あるレースの提供に努め、他主催者との連携や首都圏へのレース情報の発信などによる発売拡大や徹底したコスト削減に取り組むこととしております。

正に正念場の年であり、我が町におきましても競馬場のある町として、ホッカイドウ競馬の継続と発展を願い、主催者とともに皆様から愛されるホッカイドウ競馬を目指すために、引き続き、門別競馬場施設整備費等の支援や門別競馬場や場外発売所におけるファンサービスなどを管内各町や農協、関係団体と連携を図りながら、売上増進のために最大限の努力と取組みを進めてまいります。

◎水産業の振興

水産業につきましては、本年度から、福満地区に建設を予定しておりますシシャモのふ化場建設事業の基本計画を作成し、平成24年度完成に向けて整備を推進してまいります。また、沿岸水域の水産資源の維持・増大と安定的な漁獲を確保するために、本年から5か年計画で藻場・干潟の維持活動を行う環境・生態系保全活動事業を実施し、引き続きシシャモふ化放流事業・ホッキ稚貝放流事業・ヒトデ駆除事業等に対し支援を図ってまいります。

◎内水面漁業の振興

内水面漁業振興につきましては、日高地区のヤマベ、ニジマスの養殖を中心とした自然の中で渓流釣りを楽しんでいただくため魚の放流を実施するとともに、町内事業者による遊漁事業に対する支援と自然増養殖のための発眼卵埋設事業を継続してまいります。

◎林業の振興

林業につきましては、災害に強い森林づくり・自然環境を大切に育てる林業を目標に、森林環境保全整備事業により育成・保全を図り、利用可能な資源については、人工林の除間伐を推進し、適正な森林整備を実施するとともに、地産地消に努め、地場材